

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアは理解していても、具体的にとなると認識不足がある。	職員の研修の徹底をし、不適切なケア、身体拘束に繋がるケアをしない。	資料を作成する。資料を元に職員の勉強会を行い身体拘束についての重要性の理解と再認識、再確認を図る。	1～2ヶ月
2	4	運営推進会議の開催が不定期になっている。	月、日時を定め、定期的に2ヶ月に1回を基本として会議を行う。	日程を定める。家族代表だけでなく、利用者さんの家族全員に会議の参加のお願いをする。紙面にて家族に送付する。	1ヶ月
3	8	外出時を利用して、利用者さんの馴染みの場所や人に接するようにしているが、主体的に関わる事が少ない。	個々の希望があれば沿えるように、事業所として主体的に関わっていく。	利用者さんの会話や、事前に要望を聞き取り、必要な場合は家族さんとの了解を得ながら、馴染みの場所や人と関わる事が出来るようにする。朝会や各ユニット会にて検討をし、日程を組む。	1～2ヶ月
4	35	避難場所までの、避難訓練がされていない。	避難場所まで避難する。	区長や防災担当、地区の消防団に宿毛の里の避難場所を明確にし、協力を仰ぐ。避難訓練実施。避難場所までの動線確認。	1～3ヶ月
5	33	入所前、入所後も段階にあわせ家族とは話し合いをし理解してもらっているも、看取りを行っていない。	状態が重度化したときに、知識をもって順応したケアが出来るようにする。	研修に参加し知識を得る。職員会などでターミナルとは、事業所でのターミナルについての勉強会や検討会を行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。